

II-2. 総説・解説

II-2-1. 総説

- (1) Abaimov, A. P., Zyryanova, O. A, Prokushkin, S. G, Matsuura, Y. and Koike, T. (2000) Forest ecosystems of the cryolithic zone of Siberia; regional features, mechanisms of stability and pyrogenic changes. Eurasian Journal of Forest Research 1: 1-10.
- (2) Matsuda, K., Shibuya, M and Koike, T. (2002) Maintenances and rehabilitation of the mixed conifer-broadleaf forests in Hokkaido, northern Japan. Eurasian Journal of Forest Research 5: 131-133.
- (3) Ryu K, Watanabe M, Shibata H, Takagi K, Nomura M, Koike, T. (2009) Ecophysiological responses of the larch species in northern Japan to environmental changes as a base of afforestation. Landscape and Ecological Engineering 5: 99 -106
- (4) Koike, T. (2009) A trial of revegetation practices with larch species under changing environment. Landscape and Ecological Engineering 5: 97 - 98
- (5) Novriyanti, E., Aoyama, C., Watanabe, M. and Koike, T. (2010) Plants defense characteristics and hypothesis on the Birch species. Eurasian Journal of Forest Research 13: 77-85.
- (6) Mao, Q., Watanabe, M and Koike, T. (2010) Growth characteristics of two promising tree species for afforestation, birch and larch in the northeastern part of Asia. Eurasian Journal of Forest Research 13: 69-76.
- (7) Koike, T., Shimizu, Y. and Ito, S. (2011) Development and application of Forest Aesthetics in Japan in relation to the ideas of H. von Salisch. Studia i Materialy Osrodka Kultury Lesnej 10: 47-62.
- (8) Koike, T. (2012) Forest history of Japan with changing environment. Studia i Materialy Osrodka Kultury Lesnej 11: 109-130.
- (9) Kawaguchi, K., Watanabe, M., Hoshika, Y. and Koike, T. (2012) Ecophysiological responses of Northern Birch Forests to changing atmospheric environment, Asian Journal of Atmospheric Environment 6:196-205
- (10) Agathokleous, E., Saitanis, C.J., and Koike, T. (2015) Tropospheric O₃, the nightmare of wild plants –A review study. Journal of Agricultural Meteorology 71: 142-152.
- (11) Agathokleous, E., Saitanis, C.J., Satoh, F. and Koike, T. (2015) Wild plant species as subjects in O₃ research. Eurasian Journal of Forest Research 18: 1-36.
- (12) Koike, T., Watanabe, M., Watanabe, Y., Agathokleous, E., Mao, QZ., Eguchi, N., Takagi, K., Satoh, F., Kitaoka, S., and Funada, R. (2015). Ecophysiology of deciduous trees native to Northeast Asia grown under FACE (Free Air CO₂ Enrichment), Journal of Agricultural Meteorology 71: 174-184.

- (13) Agathokleous, E., Koike, T., Watanabe, M., Hoshika, Y., and Saitanis, C.J. (2015). Ethylene-di-urea (EDU), the most effective phytoprotectant against O₃ deleterious effects and a valuable research tool: a mystery of decades. *Journal of Agricultural Meteorology* 71: 185-195.
- (14) Agathokleous, E., Koike, T., Saitanis, C.J., Watanabe, M., Satoh, F. and Hoshika, Y. (2015) Ethylenediurea (EDU) as a protectant of plants against O₃. *Eurasian Journal of Forest Research* 18:37-50.
- (15) Agathokleous, E., Saitanis, C.J., Wang X.N., Watanabe M. and Koike, T. (2016) A review study on past 40 years of research on effects of tropospheric O₃ on belowground structure, functioning and processes of trees: a linkage with potential ecological implications. *Water, Air, & Soil Pollution* 227:33-DOI: 10.1007/s11270-015-2715-9
- (16) Noguchi, K. and Koike, T. (2016) Editorial note for the special issue “Dynamics and physiological processes of tree roots” *Trees* 30: 337–341.

II-2-2. 解説

- (1) 小池孝良 (1984) 北方森林科学研究会の3年の歩み, 北方林業 36:77-84.
- (2) 小池孝良 (1984) ヤチダモの苗木と小径木の光合成特性. 天然林における樹群構造と更新の解析(第4報), 北海道営林局, pp.171-179.
- (3) 小池孝良・坂上幸雄 (1986) SLA (Specific Leaf Area) の訳語についての意見, 日本林学会誌 68: 521-521.
- (4) 小池孝良(1987) 落葉広葉樹の光合成と寿命. 北方林業 39: 209-213.
- (5) 小池孝良 (1987) 葉広葉樹の開葉と紅葉の仕方. 北方林業 39: 322-325.
- (6) 小池孝良 (1987) 北海道における落葉広葉樹の光合成研究から. 林木の生長機構 1: 27-34.
- (7) 小池孝良 (1988) 落葉広葉樹の生存に必要な明るさとその生長に伴う変化. 林木の育種 148: 19-23.
- (8) 小池孝良・向出弘正・高橋邦秀・藤村好子 (1988)ウダイカンバ若齢人工林における衰退木の特徴. 北方林業 40: 141-144.
- (9) 高橋邦秀・藤村好子・小池孝良・中村梅男 (1988)アカエゾマツの晩霜害. 北方林業 40: 259-263.
- (10) 小池孝良・藤村好子・高橋邦秀(1988) 落葉広葉樹の光合成特性とその生育に伴う変化. 研究成果選集・森林総合研究所、昭和 62 年度, 54-55.
- (11) 小池孝良 (1990) 欧米における森林の衰退に関する研究の動向 (欧州での研究から). 北方林業 42: 205-210.
- (12) 小池孝良 (1990) 欧米における森林の衰退に関する研究の動向 (米国の研究事情とまとめ)、北方林業 42: 232-236.

- (13) 小池孝良 (1990) フィンランドの巨大ビニルハウスとカンバ類の育種事情、林木の育種 156:29-33.
- (14) 小池孝良 (1990) 用語を提唱する—Specific Leaf Weight と訳—、日本林学会誌 72 : 255-256.
- (15) 小池孝良 (1991) 葉の寿命と樹種の生活の仕方. 北方林業 43 : 323-326.
- (16) 小池孝良・長坂寿俊・岸田昭雄 (1992) 主要樹種の初産齡と成長特性との関係. 北海道の林木育種 34 : 22-28.
- (17) 小池孝良 (1991) 落葉広葉樹の光の利用の仕方—光合成特性—, 研究レポート 25:1-8
- (18) 小池孝良(1991) 落葉広葉樹稚苗と成木の光の利用のしかたと生存・成長. 森林総合研究所北海道支所年報、平成元年度,97-101.
- (19) 小池孝良 (1993) 主要樹種 CO₂固定能の意義. 北方林業 45 : 15-18.
- (20) 小池孝良・真田 勝・太田誠一(1993)植物生態系はどのような影響を受けるのか : 森林生態系の現状と研究の取り組み, 日本土壌肥科学雑誌, 64: 704-710.
- (21) 高橋邦秀・太田誠一・小池孝良・大沢 晃・佐々朋幸 (1993) 東シベリアの森林調査から. 北海道の林木育種 36 : 20-25.
- (22) 太田誠一・小池孝良・大沢 晃・佐々朋幸・高橋邦秀 (1993) シベリア永久凍土地帯のタイガ林調査から. 森林科学 7 : 68-73.
- (23) 小池孝良 (1994) タイガの伐採と湿原のメタン. 動物たちの地球 141: 278-279.
- (24) 小池孝良、Lei, T.T. (1994) 地球環境変化と木本植物のフェノロジー. フェノロジー研究 22: 1-7.
- (25) 小池孝良・森 茂太・高橋邦秀・及川 武久 (1995) 温暖化研究の手法とその動向, 森林立地, 37: 28-34.
- (26) 小池孝良 (1996) 温暖化環境における樹木の生理生態的反応特性. 東北大学遺生研 IGE, 21:77-83.
- (27) 小池孝良 (1996) 外生菌根菌とフタバガキ科樹木の生理生態研究—林木のソース・シンク研究の立場から—. 森林科学 16: 67-69.
- (28) 呉 国南・生原喜久雄・小池孝良・相場芳憲 (1998) イオン交換樹脂による森林土壌の水溶性塩基の動態, 森林立地, 38: 92-97.
- (29) 小池孝良・大崎 満 (1997) 機能タイプを基礎にした樹木の温暖化環境への反応, 日本生態学会誌, 47: 307-313.
- (30) 島田博匡・戸田浩人・生原喜久雄・小池孝良 (1998) 異なる斜面位置の森林土壌中における CO₂ ガス濃度の季節変化. 日本土壌肥科学雑誌, 69: 170-177.
- (31) 小池孝良・丸山 温 (1998) 個葉からみたブナ背腹性の生理的側面, 植物地理・分類研究 46: 23-28.
- (32) 小池孝良 (1997) 樹種の保全生態—森林修復の基礎—. 北方林業 49: 39-42.
- (33) 小池孝良 (1997) 森林の修復と保全への展望、北方林業 49:66-69.

- (34) 小池孝良(1997) 葉の光合成. 林業技術 663:15-18.
- (35) 小池孝良 (1998) ミトコンドリア DNA でみるブナ林の歴史. 遺伝 52 : 42-46.
- (36) 小池孝良 (1998) 葉のフェノロジー研究における種間比較の意義. フェノロジー研究 30 : 1-9.
- (37) 小池孝良・森 茂太・松浦陽次郎 (1998) 東シベリアのタイガにおける温暖化影響調査. 北方林業 50:241-244.
- (38) 島田博匡・戸田浩人・生原喜久雄・小池孝良 (1998) 森林土壌における斜面位置、深さ別のガス拡散係数の特徴および CO₂ フラックス. 森林立地, 40: 1-8.
- (39) 小池孝良・日浦 勉・千葉幸弘(1998) 地球温暖化と森林の CO₂ 固定能の意義, 動力 48(248): 19-24.
- (40) 小池孝良 (1999) CO₂ 濃度上昇と森林の応答能力研究の動向. 大気環境学会誌 34:A35-A42.
- (41) 小池孝良・笹 賀一郎・北尾光俊・丸山 温 (1999) 北方森林における地球環境変化と環境育種の可能性. 北海道の林木育種 42:10-13.
- (42) 小池孝良 (1999) 二酸化炭素吸収源としての緑. 道路と自然 102: 9-11.
- (43) 広見 徹・二宮生夫・小池孝良・荻野和彦 (1999) サラワク熱帯雨林におけるフタバガキ科林冠構成種の不均一な気孔開閉による蒸散速度の調節, 日本生態学会誌 49(2), 83-90.
- (44) 外崎勝美・笹 賀一郎・小池孝良 (2000) 日中共同研究「カラマツ再生林の機能評価研究」について, 北方森林保全技術, 18: 28-30.
- (45) 香山雅純・秋林幸男・アリ・クオレシ・小池孝良 (2001) 樹木の生育に果たす外生菌根菌の役割—トウヒ属樹木の観察から— 北方林業 53:197-200.
- (46) 小池孝良 (2001) 熱帯樹木の生理生態的特性と炭素収支. 岩波科学、 71 : 1205-1209.
- (47) 小池孝良 (2001) 森林の CO₂ 固定, 資源・素材 2001, 137.
- (48) 小宮圭示・杉下義幸・外崎勝美・小池孝良・笹 賀一郎 (2001) 日中共同研究「カラマツ再生林の機能評価研究」について(II), 北方森林保全技術, 19: 57-57.
- (49) 小池孝良・秋林幸男 (2001) 開発と森林修復のはざままで : ASEF の挑戦, 北方森林保全技術, 19: 69-73.
- (50) 小池孝良 (2002) 地球温暖化低減に関わる森林生態系の炭素循環システムの構築に向けて. 技術と経済, 428:52-57.
- (51) 小池孝良 (2002) 伝えたい匠の技術 : 森林国フィンランドを例にして, 北方林業, 54: 270-273
- (52) 平田竜一・杉本和之・平野高司・小池孝良・北岡 哲・油津雄夫・藤田 玲・藤沼康実・高田雅之・犬飼 孔(2002) カラマツ人工林における葉面積指数および放射環境の季節変化. 北海道の農業気象, 54: 53-62,
- (53) 香山雅純・小池孝良 (2002) 道央自動車道の法面緑化樹種の共生菌導入による活着促進

技術と CO₂ 固定能の評価. 道路と自然, 117:28-32.

- (54) 丸山 温・森 茂太・北尾光俊・飛田博順・小池孝良 (2002) 施肥がヤナギの光合成特性と成長に与える影響. 森林立地, 44:71-75.
- (55) 小池孝良 (2003) 地球環境変化と植物 : 木本植物における高 CO₂ 環境への応答. 種生物学研究, 26: 119-138.
- (56) 中路達郎・武田知己・向井 譲・小池孝良・小熊宏之・藤沼康実 (2003) カラマツ針葉の光合成活性と分光反射指標の関傍. 日本林学会誌 85: 205-213.
- (57) 香山雅純・杉下義幸・菅田定雄・北條 元・野村 睦・秋林幸男・笹賀一郎・小池孝良 (2003) アカエゾマツを利用した蛇紋岩土壌地帯の無立木地からの森林再生—北海道北部「天塩・中の峰」の事例解析から— . 北方林業, 55 : 4-7.
- (58) 香山雅純・小池孝良・丸山 温・坂本泰明 (2003) 道央自動車道の法面緑化樹種の衰退現象と外生菌根菌導入の試み. 北方林業 55 : 60-63.
- (59) 小池孝良・北尾光俊・曲 来葉・香山雅純 (2003) 森林環境修復と冷温帯樹種の根圏活動. 北方林業, 55 : 64-67.
- (60) 小池孝良・松木佐和子・山路恵子・松本剛史(2003) 樹木の被食防衛能と食葉性昆虫の活動. 北方林業, 55: 206-209.
- (61) 江口則和・上田龍四郎・笹賀一郎・小池孝良(2004) FACE (開放系大気 CO₂ 増加) を用いた落葉樹への高 CO₂ 付加実験. 北方林業, 56:4-7.
- (62) 北橋善範・丸山温・市栄智明・崔 東壽・江口則和・小池孝良(2004) 落葉広葉樹の気孔の形態と水の使い方—都市緑地評価への適用を目指して—. 北方林業 56: 8-11
- (63) 小池孝良・松木佐和子・松本剛史 (2004) 変動環境下での樹木の成長特性と被食防衛機構—食葉性昆虫の活動への応答に注目して—、樹守 (樹医会北支部) , 13 : 6-9
- (64) 小池孝良 (2004) 森林環境資源の修復に向けて. 北方林業, 56:17-20
- (65) 小池孝良 (2004) 高 CO₂ 環境で生育した落葉広葉樹の被食防衛、化学と生物, 42: 149-151
- (66) 松木佐和子・小池孝良 (2004) 被食防衛の樹種特性を生かした森林保全管理、北方林業, 56:185-188.
- (67) 香山雅純・小池孝良 (2004) 道央自動車道の樹林地の衰退原因解明と健全性向上に関する管理技術の高度化. 道路と自然, 124:30-33.
- (68) 高木健太郎・野村睦・柴田英昭・笹賀一郎・秋林幸男・佐藤冬樹・小池孝良・福澤加里部・香山雅純・藤沼康実・前林 衛 (2004) 北海道北部針広混交林における皆伐施業が微気象および炭素・水循環に与える影響. 北方林業, 56 : 197-200
- (69) 香山雅純・崔 東寿・陳 鉉五・李 忠和・小池孝良 (2004) 韓国安山工業団地に植栽されたマツ属 2 樹種の衰退現象と成長反応. 北方林業 56: 269-272.
- (70) 高木健太郎・江口則和・上田龍四郎・笹賀一郎・小池孝良 (2004) 樹木を用いた開放系大気 CO₂ 増加実験(FACE)システムにおける二酸化炭素濃度の制御. 北海道の農業気象,56:9-16

- (71) 小池孝良・江口則和・笹賀一郎 (2005) FACE (開放系大気 CO₂ 増加) を用いた冷温帯落葉樹への高 CO₂ 付加実験. 日本光合成研究会会報, 43:8-12.
- (72) 小池孝良 (2005) 光合成生産過程からみた樹木の環境適応, 森林科学, 45: 4-10.
- (73) 松木佐和子・小池孝良 (2005) 樹木の葉に見る防御戦略のいろいろ : 樹木の被食防衛能力が生物間相互作用に果たす役割とは? 森林科学, 45: 25-31.
- (74) 小池孝良 (2006)シベリア: 森林火災で乱される永久凍土と森のメカニズム, 森林環境, 2006: 29-39.
- (75) 小池孝良・間宮春大・瀬崎由里子・有倉清美・常田益代・秋林幸男(2006) 北大短期留学生コース(HUSTEP)への貢献 -エコキャンパスの充実のための樹木看板作製-. 北方森林保全技術, 24: 61-72.
- (76) 小池孝良・秋林幸男・間宮春大・菅田定雄・市川 一・常田益代 (2007) エコキャンパスの植物資源を利用した国際教育への貢献 -北大短期留学生コース(HUSTEP)学生用の樹木ガイド作成-. 北方森林保全技術, 25: 71-88.
- (77) 小池孝良・斎藤秀之・菅田定雄・市川 一・佐藤冬樹 (2007) 森林土壌学実習の試みー札幌研究林実験苗畑を利用してー, 北方森林保全技術, 25:68-70
- (78) 小池孝良・秋林幸男・藤戸永司・門松昌彦・山之内誠・野村 睦・上浦達哉・笹賀一郎・唐木貴行・小南 遼・松並志郎・兼俊壮明・森本淳子・近藤哲也(2007)外来種ニセアカシアの保全管理のための予備試験. 北方森林保全技術, 25:66-67
- (79) 小池孝良 (2008) 変動環境下でのカラマツ類の成長応答. 北海道の林木育種 51: 1~6
- (80) 渡邊陽子・北岡 哲・大塚優佳・日向潔美・笹賀一郎・小池孝良 (2008) 落葉広葉樹個葉における被食防衛物質の局在と変動環境に対する応答. 樹木医学研究, 12:137-138.
- (81) 唐木貴行・近藤哲也・渡邊陽子・小池孝良 (2008) ニセアカシアの繁殖特性 —タネから見た成長特性—北方林業, 60: 221-224.
- (82) 江口則和・北岡 哲・崔 東壽・小池孝良 (2008)世界の FACE から～世界各地の開放系大気 CO₂ 増加実験 (Free Air CO₂ Enrichment: FACE) を見学して～. 北方林業, 60: 277-280
- (83) 小池孝良・江口則和・渡辺 誠・渡邊陽子・北岡 哲・里村多香美・高木健太郎・柴田英昭・日浦 勉・笹賀一郎・船田 良 (2008) RR2002・モジュール FACE 研究の展開 —札幌実験苗畑の利用—. 北方森林保全技術, 26: 47~52
- (84) 渡邊陽子・小池孝良・間宮春大・小池 晶・秋林幸男・常田益代 (2008) 北海道大学構内の遺跡出土材を利用した国際教育への貢献. 北大短期留学生コース(HUSTEP)学生用の先史森林文化教育のためのパネル作成. 北方森林保全技術, 26: 31-46
- (85) 笠 小春・野村 睦・高木健太郎・小池孝良 (2009) 環境変化に対するカラマツ類の応答を探る～研究の動向と今後の方向性～. 北方林業, 61: 32-35.
- (86) 小池孝良 (2009) 落葉広葉樹の紅葉-銘木を生む樹種を仕立てる鍵, 山林, 1506: 2-9.
- (87) 日向潔美・渡邊陽子・小池孝良 (2009) 樹木の被食防衛物質の局在. 北方林業, 61:100-103.

- (88) 末次直樹・小池孝良 (2009) 高 CO₂ 環境が分解系に与える影響～土壤動物の役割～、北方林業, 61: 149-152.
- (89) 矢沢俊悟・小林 真・渡邊陽子・佐野雄三・小池孝良 (2009) トドマツ主伐後のハリギリ更新稚幼樹の環境変化に対する応答～伐採後初年度の事例～. 北方林業, 61:193-196
- (90) 青山千穂・小池孝良 (2009) 樹木の誘導防御に関する研究の動向と今後の方向性. 北方林業, 61: 217-220.
- (91) 小池孝良 (2009)環境変動下での森林美学考, 森林技術, 810: 34-38.
- (92) 渡 辺誠・金 容奭・幸田秀穂・小池孝良 (2009) 好气的条件下におけるアカシアとユーカリの葉からのメタン放出に関する調査. 北方林業, 61: 11-14.
- (93) 伊森允一・渡辺 誠・小池孝良 (2010) 酸性降下物とオゾンに対する樹木の応答. 北方林業, 62: 8-11.
- (94) 小池孝良 (2010) 森で実験、気候変動の影響. 日経サイエンス 2010 年 6 月:112-119.
- (95) 小池孝良 (2010) 森林美学の源流を訪ねて. 北方林業, 62: 57-60.
- (96) 小池孝良 (2010) 森林美学の今日的意義 – 「山と木と人の融合」への道–. 北方林業, 62:152-155
- (97) 小池孝良 (2010) 森林美学における空間的規制–自然の模倣と秩序付け–. 北方林業, 62:180-183
- (98) 小池孝良 (2010) 森林美学における混交林化–環境変化の影響と対策–. 北方林業, 62: 238-241
- (99) 小池孝良 (2010) 森林美学における巨樹の意義–森林純収益説と装飾としての巨樹–. 北方林業, 62:294-297
- (100) 笠小春・渡辺 誠・高木健太郎・小池孝良 (2010) 蛇紋岩土壌におけるグイマツ雑種 F₁ 利用の可能性–窒素沈着量の増加を考慮した苗木植栽試験–、北海道の林木育種, 53: 25-28.
- (101) 小池孝良 (2010) 森林美学に見られる環境教育–森林環境教育の林を造る–. 北方林業, 62:320-323
- (102) 小池孝良 (2011) 野ウサギの好きなカンバ類–世界のカンバ類の食害抵抗性–. 北方林業, 63:2-5
- (103) 小池孝良 (2010) 森林の再生–森林美学の視点から–開発こうほう, 2010: 9-13.
- (104) 渡辺誠・龍田慎平・渡邊陽子・斉藤秀之・小池孝良 (2011) 摩周湖外輪山のダケカンバの衰退現象. 北方林業, 63:33-35
- (105) 小池孝良・北尾光俊・渡辺 誠 (2011) ダケカンバの成長特性–対流圏オゾンによる成長阻害の可能性–北方林業, 63:36-38
- (106) 小池孝良 (2011)森林美学の今日的意義を問う, 山林, 1522 : 2-9.
- (107) 龍田慎平・渡辺誠・斉藤秀之・小池孝良 (2011) 大気浄化実験によるダケカンバとシラカンバ苗木の成長応答–対流圏オゾンによる成長阻害の種間差の検討–. 北方林業

業, 63:39-41

- (108) 小池孝良 (2011) 森林美学における生産基盤の整備—区画整備と林道の意義—, 北方林業, 63:46-49
- (109) 小池孝良 (2011) 森林の風景整備の視点、北方林業, 63: 261-264.
- (110) 青山千穂・小池孝良 (2011) カンバ類の防御に関する研究例—育種と防御の関係性—、北海道の林木育種, 53: 10-13.
- (111) 小池孝良 (2011) 森林美学の視点と森林風景の調整—フォレストスケープの実践—、北方林業, 63: 105-108.
- (112) 小池孝良 (2011) 森林美学における生物多様性の視点—里地里山へのまなざし—、北方林業, 63: 133-136.
- (113) 香山雅純・小池孝良 (2011) 弟子屈町川湯付近の火山荒原に生育するアカエゾマツ 北方林業, 63: 149-152.
- (114) 小池孝良 (2011) 森林の風景整備の視点、北方林業, 63: 261-264
- (115) 佐久間彬・渡辺誠・小池孝良 (2011) 摩周湖の森林衰退について考える—他の地域との比較から見えてくること—、北方林業, 63: 310-313.
- (116) 小池孝良 (2012) 北限ブナ林の里の魅力とブナ林の今後、北方林業, 64:33
- (117) 小池孝良 (2012) 北限ブナ林の保存と迫る病虫害、北方林業, 64: 52-55.
- (118) 小池孝良 (2012) 森林保護の考え方—基本方向を概観する—、北方林業, 64: 161-164.
- (119) 王 曉娜・龍田慎平・渡辺 誠・星加康智・小池孝良 (2012) ダケカンバ衰退木と根の活動 —外生菌根菌の役割—、北方林業, 64: 170-172.
- (120) 川口光倫・渡辺 誠・小池孝良 (2012) 樹木が放出する炭素化合物ガスの役割 —テルペン類に注目して—、北方林業, 64: 173-176
- (121) 小池孝良 (2012) タイワンプナの遺伝的変異—ミトコンドリア DNA の解析から—、北方林業, 64: 197-199
- (122) 小池孝良 (2012) 植食者による害と樹木の成長パターン、北方林業, 64: 213-216
- (123) 小池孝良 (2012) 高 CO₂ 環境での被食防衛、北方林業, 64: 245-248、
- (124) 小池孝良 (2012) 昆虫と植物の生き方の妙、北方林業, 64: 281-284.
- (125) 小池孝良 (2012) 穿孔虫とその仲間、北方林業, 64: 345-348.
- (126) 小池孝良 (2012) 越境大気汚染の影響、樹木医学研究, 16: 98-99.
- (127) 小池孝良 (2013) フォン・ザーリッシュの森を訪ねて—森林美学の原点を訪ねる旅—、北方林業, 65: 36-39.
- (128) 小泉匡平・鎌田直人・小池孝良 (2013) ナラ枯れとカシノナガキクイムシ、北方林業, 65:52-55.
- (129) 佐久間 彬・渡辺 誠・小池孝良 (2013) 摩周湖外輪山の衰退地の特徴 : 土壌・植生調査を基礎に、北方林業, 65: 70-72.

- (130) 渡辺 誠・星加康智・小池孝良 (2013) 開放系付加施設を利用した異なる時期のオゾン付加に対するウダイカンバの光合成応答, 北方林業, 65: 76-79.
- (131) 小池孝良 (2013) カンバ類から混交林への景観の推移 : 森林美学の視点. 北方林業, 65: 84-86.
- (132) 小池孝良 (2013) 銘木を生む広葉樹 5 種の生産環境、北方林業, 65: 109-112
- (133) 小泉匡平・鎌田直人・小池孝良 (2013) 北海道にナラ枯れは発生するか: 積雪深から見たカシナガの越冬可能性からの考察, 北方林業, 65: 205-208.
- (134) 小池孝良 (2013) 森林保護 : 菌類の活動と樹体生理 : ナラ類枯損を例に考える. 北方林業, 65: 217-220.
- (135) 小池孝良 (2013) 森林保護 : 低温・積雪と森林の成立. 北方林業, 65: 249-252.
- (136) 小池孝良 (2013) 森林保護 : 更新阻害要因としての病害. 北方林業, 65: 281-284.
- (137) 王 曉娜・毛 巧芝・甘 炯圭・渡辺 誠・星加康智・小池孝良 (2013) カラマツ属樹木に対する対流圏オゾンの影響評価の現状と課題. 北海道の農業気象, 65: 49-57.
- (138) 小池孝良・渡辺 誠・渡邊陽子・江口則和・高木健太郎・佐藤冬樹・船田 良 (2013) 植物の高 CO₂ 応答: 高 CO₂ 環境に対する落葉樹の応答, 化学と生物, 51: 559-565
- (139) 小池孝良 (2013) 巨樹と樹木医 : 森林美学の視点から, グリーンエイジ 2014, 12: 40: 16-18.
- (140) 渡辺 誠・来田和人・渡邊陽子・北岡哲・宇都木玄・小池孝良 (2013) 貧栄養条件で栽培したグイマツ雑種 F₁ の高 CO₂ に対する応答. 森林遺伝育種, 2: 13-17
- (141) 渡辺 誠・毛 巧芝・伊森允一・金 容爽・来田和人・小池孝良 (2013) 異なる樹冠位置と窒素負荷に対するグイマツ雑種 F₁ 幼木の針葉の光合成応答. 森林遺伝育種, 3: 100-103.
- (142) 小池孝良・渡辺 誠・斉藤秀之・市川 一・門松昌彦 (2013) ミュンヘン工科大学環境系・森林科学分野との共同研究—札幌研究林・簾舞試験地と実験苗畑のトドマツの成長解析—. 北方森林保全技術, 31: 41-42.
- (143) 小池孝良 (2013) 森林保護 : 枝と幹の病害・腐朽など, 北方林業, 65: 25-28.
- (144) 小林 真・毛 巧芝・渡辺 誠・来田和人・小池孝良 (2013) 窒素負荷に対するグイマツ雑種 F₁ 幼木の生理生態学的応答は立地環境により異なるか?—リンの利用可能性に注目して—. 森林遺伝育種, 2: 149-153.
- (145) 小池孝良・毛 巧芝・渡辺 誠・星加康智 (2014). 森林研究機関連合(IUFRO-07 関連)集会 : 大気変動環境と森林動態に関する国際会議, 北方林業 66: 40-43.
- (146) 小池孝良 (2014) 森林保護 : 侵入種と激害. 北方林業, 66: 57-60.
- (147) 小池孝良 (2014) 森林保護 : 風害と山火事. 北方林業, 66: 89-92.
- (148) 小池孝良 (2014) 森林保護 : タネの食害から生態系の保全を考える. 北方林業, 66: 121-124.
- (149) 小池孝良 (2014) 森林保護 : IPM から IBM へ. 北方林業, 66: 153-156

- (150) 小池孝良・高木健太郎・佐藤冬樹 (2014) 森林からのメタン発生—進行する高 CO₂ 環境の影響—、北方林業, 66: 284-287.
- (151) 小池孝良(2014) 森林と環境—森林立地論—への道、北方林業, 66:336
- (152) 小池孝良・渡辺 誠・渡邊陽子・船田 良・佐野 雄三・高木健太郎・日浦 勉・笹 賀 一郎・佐藤冬樹 (2014) 開放系 CO₂ 増加実験 (FACE : Free Air CO₂ Enrichment) による森林樹木への高濃度 CO₂ の影響評価: 札幌実験苗畑の例 (2002-2013)、北方森林保全技術, 32:28-31.
- (153) 小池孝良・渡辺 誠・星加康智・玉井 裕・高木健太郎・市川 一・門松昌彦・佐藤冬樹・小池孝良(2014) 対流圏オゾンの森林への影響評価に関する研究概要: 札幌実験苗畑の例、北方森林保全技術, 32:32-34.
- (154) 小池孝良・渡辺 誠・生方 信・佐野雄三・市川 一・藤戸永志・上浦達哉・門松昌彦・渡邊陽子・佐藤冬樹(2014) 文科省 SSH プロジェクトへの貢献—札幌実験苗畑の事例—、北方森林保全技術, 32:35-38.
- (155) 小池孝良 (2015) 森林の空間的規制—森林美学の実践方法—、山林, 1568 : 6-14
- (156) 小池孝良 (2015)カラマツのパートナー、樹木医学研究, 19 : 60-61.
- (157) 小池孝良 (2016) 間伐の放置は温暖化を加速する: 高 CO₂ 環境とメタン放出, 森林技術 891 : 26-29.
- (158) 小池孝良 (2016) 環境ストレスと樹林地管理 北大札幌キャンパスにおけるニレの事例, 樹木医学研究, 20 : 155-160
- (159) 小池孝良・池田武文 (2016) シリーズ「環境ストレスと樹林地管理」を始めるにあたって. 樹木医学研究, 20 : 154.
- (160) 横田 篤・佐藤冬樹・小池孝良 (2016) 台湾・中興大学演習林開設 100 年に寄せて—北大農学部ならびに研究林との関連—. 北方森林保全技術, 34: 50-54.

II-3. 国際学会・シンポジウム等のプロシーディング

- (1) Koike, T., Sakagami, Y. and Fujimura, Y. (1986) Characteristics of the leaf dynamics and photosynthesis of the seedlings and saplings of *Betula maximowicziana* and *Fraxinus mandshurica* var. *japonica* in Hokkaido, Japan. In: Fujimori, T. and Whitehead, D. eds. Crown and Canopy Structure in relation to Productivity, Forestry & Forest Products Research Institute, Sobun-sha, Tokyo, 396-408.
- (2) Takahashi, K., Fujimura, Y. and Koike, T. (1987) Frost damage of Akaezomatsu (*Picea glehnii* Mast.) plantations by a cold air lake. In: Fujimori, T. and Kimura, M. eds. Human Impacts and management of Mountain Forests. Sobun-sha, Tokyo, 167-175.
- (3) Koike, T. (1987) The growth characteristics in Japanese mountain birch (*Betula ermanii*) and white birch (*Betula platyphylla* var. *japonica*) and their distribution in the northern part of Japan.

In: Fujimori, T. and Kimura, M. eds. Human Impacts and management of Mountain Forests. Sobun-sha, Tokyo, 189-200.

- (4) Koike, T. (1993) Ecophysiological responses of the northern tree species in Japan to elevated CO₂ concentrations and temperature. First IGBP Symposium (Oshima, Y. ed.), Japan Promotion of Sciences, Tokyo, 425-430.1993
- (5) Koike, T. and Tabuchi, R. (1993) A trial of the measurement of CO₂ concentration in a forest and photosynthesis of woody species native to eastern Siberia. Proceeding of Russia and Japan Joint Siberian Permafrost Studies, 1: 69-74.
- (6) Koike, T., Häslner, R. and Item, H. (1994) Needle longevity and photosynthetic performance in Cembran Pine and Norway Spruce growing on the north- and east-facing slopes of the timberline of Stillberg in the Swiss Alps. USDA INT-GTR, 309:78-80.
- (7) Maximov, T.C., Tabuchi, R. and Koike, T. (1994) Preliminary experiment of measuring light-photosynthesis curve of representative plants native to eastern Siberia region. Interim Report of Joint Research Project "Carbon Storage and Carbon Dioxide Budget in Forest Ecosystems" between Japan and Russia. (Takahashi, K. ed.) Forestry & Forest Products Research Institute, Sapporo, 21-22, 1994
- (8) Koike, T. and Tabuchi, R. (1994) Ecophysiological studies of woody plants of Yakutia. Abstract of Sakha-Japan Joint Research. Interim Report of Joint Research Project "Carbon Storage and Carbon Dioxide Budget in Forest Ecosystems" between Japan and Russia. (Takahashi, K. ed.) Forestry & Forest Products Research Institute, Sapporo, 59-71, 1994
- (9) Koike, T., Tabuchi, R., Lei, T.T., Maximov, T.C., Ivanov, B. and Takahashi, K. (1994) Growth and homeostatic adjustment in the photosynthetic capacity of Siberian and Japanese birch grown under elevated CO₂ and temperature. Proceedings of Russia and Japan Joint Siberian Permafrost Studies 2: 169-176.
- (10) Tabuchi, R., Koike, T., Maximov, T.C., Ivanov, B.I. and Takahashi, K. (1994) Gas exchange measurements on some major tree species in Siberian permafrost region in summer. Proceedings of Russia and Japan Joint Siberian Permafrost Studies , 2: 164-168.
- (11) Ivanov, B.I., Maximov, T.C., Desyatkin, R.V., Kononov, A.V., Maximov, A.P., Koike, T. and Takahashi, K. (1995) CO₂ emission by conifers and leaf-bearing forests of Yakutia. Proc. Symposium Joint Permafrost studies between Japan and Russia in 1992-1994. (Solomonov, N., et al. eds.), Russian Academy of Science, Siberian Division, Yakut Institute of Biology, Yakutsk, 12-17.
- (12) Maximov, T.C., Kononov, A.V. and Koike, T. (1995) Photosynthetic activity of woody plants in Yakutia. Proc. Sympo. Joint Permafrost study between Japan and Russia in 1992-1994. (Solomonov, N. et al. eds.), Russian Academy of Science, Siberian Division, Yakutsk, 24-30.
- (13) Koike, T., Lei, T.T., Maximov, T.C., Mori, S., Takahashi, K. and Ivanov, B.I. (1995) Growth and photosynthetic characteristics of Siberian white birch and Scotch pine seedlings raised under elevated

- CO₂ and temperature. Proceedings of Russia and Japan Joint Siberian Permafrost Studies 3: 102-108.
- (14) Koike, T., Haibara, K., Lei, T. T., Matsuura, Y., Mori, S., Funada, R., Takahashi, K. and Ivanov, B. I. (1997) Comparison of photosynthetic characteristics of eastern Siberia larch, Scots pine and white birch seedlings raised under elevated CO₂. Proceedings of Russia and Japan Joint Siberian Permafrost Studies 5: 109-114.
- (15) Takahashi, K., Koike, T., Tabuchi, R., Ohta, S., Maximov, T. C., Kononov, A.V. Maximov, A. P. and Ivanov, B. I. (1997) Diurnal change of atmospheric CO₂ concentration in Siberian Taiga during growing season at Yakutsk. Proceedings of Russia and Japan Joint Siberian Permafrost 5: 21-27.
- (16) Koike, T., Lei, T. T., Mori, S., Chiba, Y. and Oikawa, T. (1997) Leaf structure and gas exchange responses of birch and maackia, a woody legume raised under CO₂ levels ranging from the pre-industrial period to a tripling. Int. Workshop on Global Change and Terrestrial Environment in Monsoon Asia. The University of Tsukuba Special Project for Global Change. 7-10.
- (17) Koike, T., Haibara, K., Matsuura, Y., Takahashi, K. Maximov, T. C. and Ivanov, B. I. (1999) Micro-site and age-dependent shoot development and needle nutrient levels of Scotch pine growing in the Yakutian permafrost region, eastern Siberia. Proc. of Forth Symposium on Joint Siberian Permafrost Studies between Japan and Russia. (Fukuda. M. ed.) The Low temperature Science Hokkaido University, Sapporo, 48-53.
- (18) Koike, T. (1999) Forest vitality and health – a brief history of larch plantation in northern Japan-, Asia-Europe workshop- people-to-people exchange in sustainable forest management, University of Joensuu, Finland, 11-12.
- (19) Koike, T., Yazaki, K., Funada, R., Maruyama, Y., Mori, S. and Sasa, K. (2000) Forest health and vitality in northern Japan - A case study on larch plantation-. Research Note of Faculty of Forestry, The University of Joensuu. 92: 49-60.
- (20) Koike, T., Sasa, K., Satoh, F., Yasue, K., Yazaki, K., Funada, R., Mori, S., Matsuura, Y., Maruyama, Y., Zyryanova, O.A., Prokushkin, A.S., and Abaimov, A. P. (2000) Annual ring growth of larch trees grown on the contrasting north-and south-facing slopes in eastern central Siberian Taiga under global changing environment. Proceedings of Russia and Japan Joint Siberian Permafrost 8: 23-28.
- (21) Kitaoaka, S., Mori, S., Matsuura, Y., Abaimov, A.P., Sugishita, Y., Satoh, F., Sasa, K. and Koike, T. (2000) Comparison between the photosynthetic characteristics of larch species grown in northern Japan and central Siberia. Proc. Joint Siberia Permafrost Studies, 8: 49-54
- (22) Prokushkin, A.S., Prokushkin, S.G. Koike, T. and Abaimov, A. P. (2000) Fluxes and activity of dissolved organic carbon in larch ecosystems of the northern part of central Siberia. Proceedings of Russia and Japan Joint Siberian Permafrost 8: 135-140.
- (23) Koike, T. Tanaka, K., Kitao, M., Ninomiya, I., Kendawang, J.J. and Ogino, K. (2000) Photoinhibition of seedlings detected by a chlorophyll fluorescence method in the Bakam

- experimental reserve in Sarawak. Workshop on Forest Ecosystem Rehabilitation. Malaysia, 168-175.
- (24) Hiromi, T., Ninomiya, I., Koike, T., and Ogino, K. (2000) Transpiration and stomatal regulation at canopy top of Tropical rain forest in Sarawak. Workshop on Forest Ecosystem Rehabilitation. Malaysia. 176-181
- (25) Tanaka, K., Koike, T., Ninomiya, I., Kendawang, J.J. and Ogino, K. (2000) Response of light-photosynthesis curve of several tree species planed in the Bakam experimental reserve. Workshop on Forest Ecosystem Rehabilitation. Malaysia. 162-165.
- (26) Mori, S., Koike, T., Yanagihara, Y., Masyagina, O., Prokushkin, A.S., Kajimoto, T., Zyryanova, O.A., Prokushkin, A.S., Abaimov, A.P., Matsuura, Y. and Ueda, T. (2000) Daytime whole-tree respiration of *Larix gmellini* trees in middle Siberia. Proceedings of Russia and Japan Joint Siberian Permafrost 8: 59-65.
- (27) Ninomiya, I., Tanaka, K., Koike, T., Lee, H.S. and Ogino, K. (2000) Ecophysiology of seedlings planted in the Bakam experimental reserve. Workshop on Forest Ecosystem Rehabilitation. Malaysia, 25-29.
- (28) Zyranova, I.A., Bugaenko, T.N., Buganenk, N.N., Koike, T., and Takenaka, A. (2001) Plant association diversity regeneration as related cryogenic microrelief and forest fires. Proceedings of Russia and Japan Joint Siberian Permafrost 9: 18-23.
- (29) Koike, T., Wang, W., Kitaoka, S., Mori, S., Matsuura, Y., Prokushkin, A.S., Zyryanova, O.A., Prokushkin, S.G. and Abaimov, A.P. (2001) Photosynthetic light curves of trees and shrubs grown under contrasting north-and south-facing slopes in central Siberia. Proceedings of Russia and Japan Joint Siberian Permafrost 9: 35-41.
- (30) Wang, W., Kitaoka, S., Shi, F., Sasa, K. and Koike, T. (2001) Respiration rate of stems and roots of a larch plantation with special reference to the seasonal change in their cambium activity. Proceedings of Russia and Japan Joint Siberian Permafrost 9: 42-49.
- (31) Korotki, T.I., Prokushkin, A.S., Prokushkin, S.G., Abaimov, A.P. Matsuura, Y., Koike, T. and Shibata, H. (2001) Variability of dissolved organic carbon and dissolved nitrogen in central Evenkia stream during vegetation period. Proceedings of Russia and Japan Joint Siberian Permafrost 9: 85-92.
- (32) Masyagina, O.V., Prokushkin, S.G., Mori, S., Koike, T. and Yanagihara, Y. (2001) Postfire vegetation cover respiration in permafrost zone of middle Siberia. Proceedings of Russia and Japan Joint Siberian Permafrost 9: 128-133
- (33) Kitaoka, S., Kitahashi, Y., Shimizu, K., Hiura, T. and Koike, T. (2001) Canopy photosynthesis and transpiration in deciduous trees with special references stomatal and non-stomatal regulation. Proceedings of Canopy biology in Tropical Rain Forests. 108-114.
- (34) Koike, T., Kitahashi, Y., Nakagawa, M. and Nakashizuka, T. (2001) Mid-day depression of

- photosynthetic rate in canopy trees native to Tropical Rain Forest in the Lambir Hills National Park, Sarawak, Malaysia. Proceedings of Canopy biology in Tropical Rain Forests. 51-56.
- (35) Qu, L.Y., Quoreshi, A.M. and Koike, T. (2001) Root growth characteristics, biomass and nutrient dynamics of larch species raised under different fertilization regimes. Proceedings of International Symposium of Root Research, 6: 376-377.
- (36) Quoreshi, A.,M., Qu, L.Y., Kitaoka, S. and Koike, T. (2001) Root growth, dry matter and nutrient partitioning in containerized *Picea glehnii* seedlings in response to exponential nutrient loading and elevated CO₂. Proceedings of International Symposium of Root Research, 6: 378-379.
- (37) Qu, L.Y., Wang, W., Shi, F.C., Quoreshi, A.M., Kitaoka, S. and Koike, T. (2001) Stem and soil respiration of Japanese larch plantation and their contributions to CO₂ flux estimation. Int. Carbon Dioxide Conference 6:441-444.
- (38) Kitaoka, S. Wang, W., Shi, F., Sasa, K. and Koike, T. (2001) Seasonal changes of light utilization capacity in deciduous broad-leaved tree seedlings invaded into trunk space of a larch plantation. 6th International Carbon Conference, pp. 392-395.
- (39) Kitaoka, S., Koike, T., Quoreshi, A.M., Takagi, K., Wang, W., Shi, F., Kayama, M., Ishida, N., Mamiya, H. and Sasa, K. (2001) Seasonal changes in the photosynthetic capacity of Japanese larch trees planted on the Tomakomai National Forest, northern Japan. Proceedings of International Workshop for Advanced Flux Network and Flux Evaluation, pp.109-112.
- (40) Wang, W., Kitaoka, S., Koike, T., Quoreshi, Ali M., Takagi, K., Kayama, M., Ishida, N., Mamiya, H. Shi, F., Zu, Y. and Sasa, K. (2001) Respiration of non-photosynthetic organs and forest soil of Japanese larch plantation and its contribution to CO₂ flux estimation. Proceedings of International Workshop for Advanced Flux Network and Flux Evaluation, pp.119-123.
- (41) Kayama, M., Kitaoka, S., Koike, T., Takagi, K., Satoh, F., Wang, W., Shi, F., Sugata, S., Hojyo, H., Sugishita, Y. Nomura, M., Akibayashi, Y. and Sasa, K. (2001) Photosynthetic Capacity of hybrid larch and dwarf bamboo grown in the Teshio experiment forest located at the border between Russia and Japan. Proceedings of International Workshop for Advanced Flux Network and Flux Evaluation, pp.105-108.
- (42) Koike, T., Matsuki, S. and Matsumoto, T. (2003) Effects of Defoliation on Defense Characteristics in Leaves of Deciduous Broad-Leaved Tree Species in Changing Environment. COE international symposium of Kanazawa University on Long- and short-term dynamics Pan-Japan Sea area: Environmental Change and Prediction. Pp.402-405.
- (43) Koike, T., Kuromaru, M., Qu, L.Y., Choi, D.S., Takagi, K., Masyagina, O.V., Wang, W.J., and Sasa, K. (2004) Process of larch plantation in northern Japan and development of hybrid larch (F₁) for overcoming biological stresses. International Congress on Forest Bio-Resources (Khabarovsk. Russia) Far East Forest Research Institute (Khabarovsk), pp.57-63.

- (44) Eguchi, N., Koike, T. and Ueda, T. (2005) Free air CO₂ enrichment experiment in Northern Japan. *Vaisala News* 169: 15-16.
- (45) Koike, T., N. Eguchi, S. Kitaoka, Y. Watanabe, R. Funada, K. Takagi, T. Hiura, and K. Sasa. (2008) Effect of elevated CO₂ on the physiological adjustment and xylem structure of deciduous tree species grown in Free Air CO₂ Enrichment (FACE). *Proceedings of the International Conference on Sustainable Agriculture for Food, Energy and Industry 2008 (ICSA2008)*, 6-
- (46) Kitaoka, S., T. Sakata, M. Watanabe, Y. Kim, H. Utsugi, H. Tobita, A. Uemura, S. Aizawa, M. Kitao, Y. Maruyama, K. Sasa, and Koike, T. (2008) Evaluation of methane emission from three dominant cool temperate deciduous tree species grown under elevated CO₂ concentration in northern Japan. *Proceedings of the International Conference on Sustainable Agriculture for Food, Energy and Industry 2008 (ICSA2008)*, 11
- (47) Ryu, K., H. Shibata, M. Watanabe, K. Takagi, M. Nomura, and Koike, T. (2008) A brief history of larch plantation in northern Japan with special reference to environmental change. *Proceedings of the International Conference on Sustainable Agriculture for Food, Energy and Industry 2008 (ICSA2008)*, 57-
- (48) Kim, Y.S., Y.Y. Lee, M.J. Yi, Y. Son, and Koike, T. (2008) Soil CO₂ efflux and its relationship to vegetation in even-aged alder and pine forests, Central Korea. 32
- (49) Karaki, T., T. Kondo, Y. Watanabe, M. Kadomatsu, Y. Akibayashi, H. Saito, M. Shibuya and Koike, T. (2008) Development of water impermeability and anatomical feature in seeds of Black locust (*Robinia pseudoacacia*), an invasive species in Japan. 159-162.
- (50) Makoto, K., H. Shibata, Y. Kim, T. Satomura, K. Takagi, M. Nomura, F. Satoh, K. Sasa, and Koike, T. (2008) Effects of experimental burning on the soil nutrient concentrations in white birch forest in Hokkaido, northern Japan. - a method for experimental burning- 264-269
- (51) Koike, T., Kitao, M., Kitaoka, S., Watanabe, M., and Maruyama, Y. (2008) Leaf morphological and functional adaptation of Siebold beech (*Fagus crenata*) seedlings grown at two water regimes. *Proc. The 8th IUFRO International Beech Symposium*, 103-105.
- (52) Watanabe, Y., Otsuka, Y., Hinata, K. And Koike, T. (2008) Localization of chemical defensive materials in leaves of beech (*Fagus crenata*) growing at various environmental conditions. *Proc. The 8th IUFRO International Beech Symposium*, 181-183.
- (53) Makoto, K., Shibata, H., Kim Y.S., Satomura, T., Takagi, K., Nomura, M., Satoh, F., Sasa, K., Koike, T. (2008) The effects of charcoal removal on short term soil nutrient dynamics after experimental burning in the *Betula platyphylla* forests, northern Japan. *Proceed. "The '88 Fires: Yellowstone and Beyond" in Jackson, Wyoming on September 22-27, 2008*. Pp 124-125.
- (54) Makoto, K., Semyon, V. B., Nemilostiv, Y. P., Prokopchuk, V. F., Kajimoto, T., Yojiro Matsuura, Y., Toshiya, T. Y., Satoh, F., Sasa, K., Koike, T. (2008) The carbon accumulation

- rate in mixed conifer-broad leaved forests in the southern part of Russian Far East. Proceedings of The First International Symposium on Arctic Research (ISAR-1). 4-6 November 2008, Tokyo, Japan. Pp 364-367.
- (55)Watanabe, M., Kitaoka, S. and Koike, T.. (2010) Aerobic methane emission from leaves of birch and other afforestation tree species under elevated CO₂ concentration. Proceedings of 4th International Symposium on Sap Utilization, pp.137-141.
- (56)Novriyanti, E., Watanabe, M., Aoyama, C. and Koike, T.. (2010) Plant defense characteristics of birch species: a literature survey. Proceedings of 4th International Symposium on Sap Utilization, pp.204-212.
- (57)Mao, Q., Watanabe, M., Imori, M. and Koike, T.. (2010) Comparative research on the growth traits of Chinese birch and larch as re-vegetation materials. Proceedings of 4th International Symposium on Sap Utilization, pp.253-260.
- (58)Kim YS, Makoto K, Takagi K, Hatano R, Koike, T. (2010) Greenhouse gas emissions in a post-fire white birch stand in northern Japan. Proceedings of the 4th International Symposium on Sap Utilization, pp.142-148.
- (59)Aoyama, C. and Koike, T.. (2010) Induced Defense of Japanese White Birch Seedlings against Insect Herbivores. Proceedings of the 4th International Symposium on Sap Utilization, pp149-153.
- (60)Koike, T.. and Shimizu, Y. (2010) A role of forest aesthetics in birch stands under changing environment. Proceedings of the 4th International Symposium on Sap Utilization, pp129-136.
- (61)Agathokleous, E., Koike, T.., Kanie, S., Paoletti, E., Manning, W.J., Satoh, F., and Saitanis, J. (2016). Interactive effect of Ethylene di-urea, O₃ pollution and insect grazing on willow (*Salix sachalinensis* L.) saplings cultivated in a free-air-O₃ system. IUFRO ALL DIVISION 7 Conference “Global Change and Forest Health: climate change, biological invasions, air pollution, forest pathology, forest entomology, and their interactions”. Pp.25-29 April 2016, Istanbul, Turkey.
- (62)Yokota, A, Satoh, F. and Koike, T. (2016) Experiment forest of National Chung Hsing University and Hokkaido University Forests: A contribution to the 100th anniversary of The Huisun Forest, Hui-Sun Forest Centennial Symposium, National Chung Hsing University, Taiwan, pp.4-11.

II-4. 日本林学会・日本森林学会論文集・同支部会(北方森林学会)論文集等

- (1) 萩原秋男・小池孝良・穂積和夫 (1979) カラマツの光合成、日本林学会中部支部講演集, 27:129-131.
- (2) 小池孝良(1979) 異なる光環境で生育したヒノキ稚苗の光合成、日本林学会中部支部講演集, 27: 133-135.

- (3) 小池孝良(1980) 冬季に日長処理をしたヒノキの光合成・呼吸と芽の動き、日本林学会中部支部講演集, 28: 51-55.
- (4) 小池孝良(1980) 冬季におけるヒノキの光合成に及ぼす日長と温度の影響、日本林学会中部支部講演集, 28:57-62.
- (5) 太田馨・小池孝良 (1980) 異なる温度条件下におけるポプラさしほの発根、日本林学会中部支部講演集, 28:69-72.
- (6) 小池孝良(1981) 冬季におけるヒノキ葉中の脂肪酸組成. 日本林学会中部支部講演集,29: 79-82.
- (7) 小池孝良 (1982) ヒノキ葉中の脂肪酸組成の季節変化, 日本林学会北海道支部講演集, 30: 130-132.
- (8) 小池孝良・坂上幸雄・藤村好子 (1982) 北海道産カンバ属単葉の生長, 日本林学会論文集, 93: 136-138.
- (9) 小池孝良・坂上幸雄 (1982)ウダイカンバとシラカンバの光合成速度・呼吸速度の季節変化. 日本林学会論文集, 93:229-230.
- (10)小池孝良・坂上幸雄(1983) 八月における北海道産有用広葉樹の光一光合成速度関係, 日本林学会北海道支部講演集, 31: 85-87.
- (11)小池孝良・坂上幸雄・藤村 好子(1983) ウダイカンバ・シラカンバ・ダケカンバの単葉の生長におよぼす光と温度の影響, 日本林学会北海道支部講演集, 31: 88-90.
- (12)小池孝良・坂上幸雄・藤村好子(1983) カンバ類三種の開葉速度と気温との関係. 日本林学会論文集, 94 : 325-326.
- (13)小池孝良・坂上幸雄 (1983)北海道産カンバ三種の光合成, 呼吸速度の季節的变化日本林学会論文集, 94:327-328.
- (14)佐野淳之・小池孝良・坂上幸雄 (1983) 葉半法による夏緑性広葉樹光合成速度の検討, 日本林学会北海道支部講演集, 31: 91-93.
- (15)小池孝良・坂上幸雄・藤村好子(1984)北海道カンバ類 3 種の層別の開葉速度と着葉期間. 日本林学会論文集, 95:373-374.
- (16)小池孝良・坂上幸雄 (1984)異なる 2 海拔高に生育するダケカンバの光合成特性. 日本林学会論文集, 95 : 373-374.
- (17)小池孝良 (1985)異なる海拔高に生育するダケカンバの着葉数と光合成の季節変化 .日本林学会論文集, 96:337-338.
- (18)真田 勝・小池孝良 (1985)ウダイカンバ人工林における落葉落枝の分解過程(I) 一初期段階における重量および養分濃度の変化一. 日本林学会論文集, 96: 227-228.
- (19)小池孝良 (1985)カンバ類 3 種苗木の生長過程に及ぼす水分傾度の影響. 日本林学会論文集, 96 : 315-316
- (20)小池孝良(1985) 6 月におけるカンバ類 3 種の光合成に及ぼす乾燥の影響, 日本林学会北海道支部講演集, 33: 33-35.

- (21) 小池孝良(1985) 若齡ダケカンバ,ウダイカンバ植栽地の林床の光環境, 日本林学会北海道支部講演集, 33: 36-38.
- (22) 小池孝良・弓場 譲 (1986)落葉広葉樹数種の蒸散速度の日変化. 日本林学会論文集 97:365-366
- (23) 小池孝良 (1986)落葉広葉樹の単葉の生長と光合成の経時変化. 日本林学会論文集, 97: 373 - 374.
- (24) 小池孝良 (1986)落葉広葉樹数種の光合成に及ぼす光前歴の影響. 日本林学会論文集, 97: 375-376.
- (25) 小池孝良・春木雅寛 (1986) 夏期における北海道産ヤナギ科植物数種の光-光合成速度関係, 日本林学会北海道支部論文集, 34: 154-156.
- (26) 小池孝良・弓場 譲 (1986) 8月におけるカンバ類3種の蒸散速度の日変化, 日本林学会北海道支部論文集 (34), 157-159.
- (27) 小池孝良(1987)北海道産落葉広葉樹の葉内空隙量と樹種間差, 日本林学会北海道支部論文集 35:138-140.
- (28) 小池孝良・藤村好子・高橋邦秀 (1987)ウダイカンバ人工林の直径と樹高の頻度分布の5年間の変化. 日本林学会論文集, 98:399-400.
- (29) 小池孝良(1987)落葉広葉樹数種の温度-光合成速度関係. 日本林学会論文集, 98: 391-392.
- (30) 小池孝良 (1987)落葉広葉樹数種の飽和光合成速度と呼吸速度の季節変化. 日本林学会論文集, 98:389-390.
- (31) 高橋邦秀・藤村好子・小池孝良(1987) 北海道産落葉広葉樹の冠水耐性 (I) 日本林学会北海道支部論文集, 35: 159-161.
- (32) 高橋邦秀・藤村好子・小池孝良(1988) 北海道産落葉広葉樹の温度順化特性 (II) 一昼・夜温の影響一. 日本林学会論文集, 99:323-325.
- (33) 高橋邦秀・藤村好子・小池孝良 (1988) 北海道産落葉広葉樹の冠水耐性 (II) 耐性の季節変化, 日本林学会北海道支部論文集, 36: 99-101.
- (34) 小池孝良 (1988) 落葉広葉樹の光合成と葉形態との関係, 日本林学会北海道支部論文集 36: 54-56.
- (35) 小池孝良・長坂寿俊・河野耕蔵 (1988) 夏期におけるカラマツとグイマツの光合成, 日本林学会北海道支部論文集, 36: 57-59.
- (36) 小池孝良・高橋邦秀・藤村好子 (1988) 秋季におけるダケカンバとウダイカンバの光合成特性の比較. 日本林学会論文集, 99:327-328.
- (37) 高橋邦秀・藤村好子・小池孝良(1989) 北海道産落葉広葉樹の冠水耐性(III): 開芽期における耐性, 日本林学会北海道支部論文集, 37: 7-8.
- (38) 高橋邦秀・小池孝良・藤村好子 (1989) 林内環境に順化させた落葉広葉樹苗の光合成・蒸散速度, 日本林学会北海道支部論文集, 37: 9-11.

- (39) 藤村好子・高橋邦秀・小池孝良 (1989) カツラ苗木の成長に及ぼす庇陰の影響. 日本林学会論文集, 100:436-437.
- (40) 高橋邦秀・藤村好子・小池孝良 (1989) 弱光に順化した広葉樹苗木の光合成・蒸散特性と耐陰性. 日本林学会論文集, 100:435-436.
- (41) 小池孝良・藤村好子・高橋邦秀・坂上幸雄 (1990) 北海道産ダケカンバの成長特性ーシラカンバとの比較ー. 日本林学会論文集, 101:435-436.
- (42) 小池孝良・田淵隆一・藤村好子・高橋邦秀・弓場 譲・長坂寿俊・河野耕蔵(1990) 夏期における国産ブナの光合成特性, 日本林学会北海道支部論文, 38: 20-22.
- (43) 藤村好子・高橋邦秀・小池孝良・田淵隆一(1990) ハリギリ苗木の成長に及ぼす庇陰の影響. 日本林学会論文集, 101:359-360.
- (44) 高橋邦秀・藤村好子・小池孝良・田淵隆一(1990) 異なる表土母材と気温の組み合わせによるウダイカンバ種子の発芽. 日本林学会論文集, 101:457-458.
- (45) 小池孝良・Häsler Rudolf・Matyssek Rainer・Thum Roland・Item Hans (1990) 樹木限界における針葉樹の光合成特性, 日本林学会北海道支部論文集, 38:23-25.
- (46) 小池孝良・田淵隆一・藤村好子(1991)ドロノキ苗木の成長に及ぼす高二酸化炭素濃度の影響. 日本林学会論文集, 102:519-520.
- (47) 田淵隆一・小池孝良・藤村好子・高橋邦秀(1992) 羊ヶ丘天然生林分の階層構造, 日本林学会北海道支部論文集, 40: 65-67.
- (48) 藤村好子・小池孝良・田淵隆一・高橋邦秀(1992) エゾマツ苗木の成長に及ぼす庇陰の影響, 日本林学会北海道支部論文集, 40: 98-100.
- (49) 田淵隆一・高橋邦秀・小池孝良・斎藤武史 (1992) 落葉広葉樹林内の稚幼樹の葉群動態と光合成能. 日本林学会論文集 102:485-486.
- (50) 小池孝良 (1992) 北海道産ヤナギ属とハコヤナギ属数種の光合成速度の季節変化. 日本林学会論文集, 103:405-406.
- (51) 小池孝良・田淵隆一 (1992) 夏期における主要針葉樹の CO₂ ー光合成関係, 日本林学会北海道支部論文集, 40: 104-106.
- (52) 小池孝良・田淵隆一・藤村好子・高橋邦秀 (1992) 異なる CO₂ 濃度で成育したトドマツとウダイカンバの光合成, 日本林学会北海道支部論文集, 40: 107-109.
- (53) 高橋邦秀・小池孝良・田淵隆一・伊藤正範・沢田孝子 (1992) 大通公園街路樹のガス交換機能, 日本林学会北海道支部論文集, 40: 110-112.
- (54) 高橋忠幸・小池孝良・佐々朋幸・Ivanov, B.I.・Maximov, T.C. (1993) シベリア・タイガ地帯にみられる主要3樹種の葉中養分濃度. 日本林学会論文集 104:325-326.
- (55) 藤村好子・小池孝良・田淵隆一(1993) イヌエンジュとカツラ苗木の成長の季節変化、日本林学会北海道支部論文集, 41: 211-213.
- (56) 北尾光俊・田淵隆一・藤村好子・小池孝良 (1993) マンガン過剰がシラカンバ苗木の成長に及ぼす影響, 日本林学会北海道支部論文集, 41: 214-216.

- (57) 小池孝良・永田義明・田淵隆一・藤村好子・北尾光俊・小川 章(1993) エゾノカワヤナギとナガバヤナギの成長に及ぼす高温・高 CO₂ 濃度の影響, 日本林学会北海道支部論文集, 41: 217-219.
- (58) 藤村好子・田淵隆一・レイ トーマス・小池孝良 (1994) ウダイカンバ若齢人工林のリターフォールの季節変化, 日本林学会北海道支部論文集, 42: 85-87.
- (59) 北尾光俊・田淵隆一・レイ トーマス・小池孝良 (1994) 北海道主要樹種におけるマンガン過剰障害, 日本林学会北海道支部論文集, 42: 111-113.
- (60) 小池孝良・永田義明・真田 勝・田淵隆一・藤村好子・北尾光俊・小川 章 (1994) ヤナギ類サシ木の成長に及ぼす栄養塩の影響, 日本林学会北海道支部論文集, 42: 114-116.
- (61) 丸山 温・森 茂太・小池孝良・Lei Thomas T., Inoue Mario T. (1998) 土壌養分条件がヤナギ属 3 種の光合成能に及ぼす影響, 日本林学会北海道支部論文集, 46: 71-73.
- (62) 柳原祐子・松浦陽次郎・森 茂太・Avaimov A. P.・Zyryanova O. A.・Prokushkin S. G.・小池孝良 (2000) 東シベリアのタイガにおける土壌呼吸測定, 日本林学会北海道支部論文集, 48: 75-77.
- (63) 北岡 哲・秋林幸男・菅田定雄・北條 元・芦谷大太郎・奥山 悟・浪花彰彦・笹 賀一郎・小池孝良 (2000) カラマツ類の光合成能力の季節変化, 日本林学会北海道支部論文集, 48: 78-80.
- (64) 香山雅純・北岡 哲・笹賀一郎・秋林幸男・中島潤子・北條 元・杉下義幸・松田 疆・小池孝良 (2000) アカエゾマツによる山火事跡再生試験の解析—北大天塩地方演習林「中の峰」試験地の事例—. 日本林学会北海道支部論文集, 48: 72-74.
- (65) 北岡 哲・秋林幸男・菅田定雄・北條 元・芦谷大太郎・奥山 悟・浪花彰彦・笹賀一郎・小池孝良 (2000) カラマツ類の光合成能力の季節変化. 日本林学会北海道支部論文集, 48: 78-90.
- (66) 小池孝良・松木佐和子・松本剛史・矢崎健一・船田 良・飛田博順・北尾光俊・丸山 温 (2001) 高 CO₂ 条件と被陰条件で生育した樹木葉の被食防衛物質. 日本林学会北海道支部論文集, 49: 27-29.
- (67) 北岡 哲・王 文杰・奥山 悟・杉下義幸・菅田定雄・秋林幸男・小池孝良 (2001) カラマツ属の樹冠部における光合成特性—二酸化炭素—光合成関係の測定によるカルボキシレーション効率の評価—. 日本林学会北海道支部論文集, 49: 15-17.
- (68) 松木佐和子・松本剛史・小池孝良 (2001) カバノキ科を中心とした落葉広葉樹 5 種の葉切除に対する応答. 日本林学会北海道支部論文集, 49: 24-26.
- (69) 香山雅純・北岡 哲・北尾光俊・丸山 温・飛田博順・小池孝良 (2001) 蛇紋岩土壌及び酸性土壌に植栽された主要樹種の蛍光測定によるストレス評価. 日本林学会北海道支部論文集, 49: 30-32.
- (70) 大石真智子・香山雅純・Ali M.Quoreshi・北岡 哲・王 文杰・松浦陽次郎・丸山 温・小池孝良 (2001) 貧栄養火山灰土壌におけるトウヒ属 2 種の成長. 日本林学会北海道支

- 部論文集, 49 : 33-35.
- (71)王 文杰・北岡 哲・石 福臣・笹賀一郎・秋林幸男・菅田定雄・杉下義幸・北條 元・奥山 悟・石井 正・小池孝良 (2001) カラマツ人工林の非同化器官と土壌の呼吸測定. 日本林学会北海道支部論文集, 49 : 36-38.
- (72)石 福臣・王 文杰・北岡 哲・松浦陽次郎・笹賀一郎・小池孝良 (2001) カラマツとトドマツ人工林の土壌呼吸の比較. 日本林学会北海道支部論文集, 49 : 39-41.
- (73)小池孝良・北岡 哲・王 文杰・上田龍四郎 (2001) 携帯型6点式CO₂濃度サンプリング装置の開発. 日本林学会北海道支部論文集, 49 : 45-47.
- (74)小池孝良・アリ・クオレシ・北尾光俊 (2002) 異なる水分条件で生育したシラカンバ属3種の根の成長特性. 日本林学会北海道支部論文集, 50 : 8-10.
- (75)北橋善範・丸山 温・小池孝良 (2002) 高さの異なる部位における広葉樹冠の水利用特性. 日本林学会北海道支部論文集, 50: 20-22.
- (76)香山雅純・北岡 哲・奥山 悟・松田 彊・小池孝良 (2002) 同一地域に植栽されたトウヒ属樹木4種の生理特性. 日本林学会北海道支部論文集, 50 :23-25.
- (77)北岡 哲・上田龍四郎・石井 正・田中夕美子・柴田英昭・小池孝良 (2002) 無電源地帯用の6点式土壌呼吸測定装置の開発. 日本林学会北海道支部論文集, 50: 26-28.
- (78)小池孝良 (2003) 地球環境変化と植物 : 木本植物における高CO₂環境への応答. 種生物学研究, 26: 119-138.
- (79)野口麻穂子・香山雅純・吉田俊也・小池孝良 (2003) 冬山造材を行った地域におけるトドマツ前生稚樹の光合成特性. 日本林学会北海道支部論文集, 51 : 36-38.
- (80)北橋善範・丸山温・市栄智明・小池孝良 (2003) 落葉広葉樹の樹冠部における着葉高の違いと個葉の水分特性. 日本林学会北海道支部論文集, 51 : 39-41.
- (81)松木佐和子・阿部知浩・竹内裕一・丸山温・小池孝良 (2003) カバノキ科樹木におけるトリコーム形成の環境および季節依存性. 日本林学会北海道支部論文集, 51 : 42-44.
- (82)小池孝良・松木佐和子・松本剛史・飛田博順・北尾光俊・丸山温 (2003) 落葉広葉樹6種の被食防衛物質の生産に及ぼす被陰と栄養塩の影響. 日本林学会北海道支部論文集, 51 : 45-48.
- (83)北岡 哲・奥山 悟・石井 正・小池孝良 (2003)上層木の伐採が落葉広葉樹前生稚樹の光利用特性に与える影響. 日本林学会北海道支部論文集 51 : 30-32.
- (84)崔 東壽・香山雅純・陳 鉉五・李 忠和・小池孝良 (2003) 韓国安山工業団地で育っている二つのマツ類の成長と生理学的反応. 日本林学会北海道支部論文集, 51 : 58-60.
- (85)江口則和・船田 良・上田龍四郎・高木健太郎・日浦 勉・笹賀一郎・小池孝良 (2004) 開放系大気CO₂増加実験(FACE)による落葉樹数種の成長応答. 日本林学会北海道論文集, 52:66-68
- (86)北岡 哲・渡邊陽子・日浦 勉・奥山 悟・石井 正・小池孝良 (2004)上層木の伐採と窒素施肥に対する落葉広葉樹前生稚樹の個葉の応答. 日本林学会北海道支部論文集,

52 : 84-86.

- (87)柴田隆紀・竹内裕一・松木佐和子・飛田博順・北尾光俊・丸山 温・小池孝良 (2004) 異なる CO₂ と窒素条件で生育したシラカンバとミズナラ稚樹葉を餌としたエリサンの生存率の変化. 日本林学会北海道支部論文集, 52 : 81-83.
- (88)香山雅純・曲 来葉・北橋善範・江口則和・赤坂宗光・小池孝良 (2004) 渡島駒ヶ岳に侵入したカラマツ稚樹の光合成特性. 日本林学会北海道支部論文集, 52 : 60-62.
- (89)小池孝良・松木佐和子・崔 東寿・松木剛史・坂本泰明・丸山 温 (2004) カバノキ科 18 種の成長特性と被食防衛態. 日本林学会北海道支部論文集, 52 : 78 – 80.
- (90)崔 東寿・Ali M. Quoreshi・丸山 温・陳 鉉五・小池孝良 (2004) 外生菌根菌に感染したマツ類メバエの成長と光合成特性に及ぼす高 CO₂ の影響. 日本林学会北海道支部論文集 52 : 63–65. 日本林学会北海道支部論文集, 52 : 63-65.
- (91)北橋善範・丸山温・市栄智明・小池孝良 (2004) 落葉広葉樹の個葉における気孔の形態と水分生理. 日本林学会北海道支部論文集, 52 : 87-89.
- (92)遠藤郁子・江口則和・奥山 悟・石井 正・日浦 勉・笹賀一郎・小池孝良 (2005) ケヤマハンノキとの混植がシラカンバに与える影響. 日本森林学会北海道支部論文集, 53: 55-57.
- (93)江口則和・唐津一樹・上田龍四郎・船田 良・高木健太郎・日浦 勉・笹賀一郎・小池孝良. (2005) FACE (Free Air CO₂ Enrichment)を用いた高 CO₂ 濃度処理が落葉樹稚樹へ与える影響—成長と生理反応、2年間の結果—. 日本森林学会北海道論文集, 53: 73-75.
- (94)香山雅純・北岡 哲・王 文杰・崔 東寿・池 東焄・菅田定雄・北條 元・浪花彰彦・高木健太郎・野村 睦・笹賀一郎・小池孝良 (2005) グイマツ雑種 F₁ の樹冠部における光合成特性と生産量の関係 日本森林学会北海道支部論文集, 53: 49-51.
- (95)池 東焄・李 明鐘・遠藤郁子・崔 東寿・渡邊陽子・北岡 哲・小池孝良 (2005) 被陰下で生育したカラマツ苗木の針葉形態と光合成速度. 日本森林学会北海道支部論文集, 53:70-72.
- (96)唐津一樹・網野真一・江口則和・上田龍四郎・高木健太郎・小池孝良. (2005) Free Air CO₂ Enrichment (FACE) により高 CO₂ 処理された落葉樹広葉樹稚樹の光合成特性と Rubisco の応答. 日本森林学会北海道論文集, 53:76-78.
- (97)佐久間祐子・渡邊陽子・藤沼康実・北岡 哲・市栄智明・笹賀一郎・小池孝良(2005) カラマツ壮齡林における異形型葉針葉の形態と光合成特性. 日本森林学会北海道論文集, 53:52-54.
- (98)北橋善範・丸山 温・市栄智明・崔 東寿・渡邊陽子・小池孝良 (2005) 落葉広葉樹個葉の葉面積と水分生理特性 日本森林学会北海道支部論文集, 53:67-69.
- (99)崔 東寿・Ali M. Quoreshi・丸山 温・陳 鉉五・小池孝良 (2005) 高 CO₂ 環境下で生育したアカマツの光合成特性及び成長に及ぼす 3 種類の外生菌根菌の影響. 日本森林学会北海道支部論文集, 53 : 85-85.

- (100) 小池孝良・渡邊陽子・柴田隆紀・松木佐和子・松本剛史・坂本泰明・丸山 温 (2005) カバノキ科 5 種若齢木の葉の表面構造と被食防衛能. 日本森林学会北海道支部論文集, 53 : 79-81.
- (101) 江口則和・森井紀子・上田龍四郎・船田 良・高木健太郎・日浦 勉・笹賀一郎・小池孝良 (2006) 高 CO₂ 環境下での冷温帯樹木の水利用特性の変化が葉柄の内部構造に与える影響. 日本森林学会北海道支部論文集, 54: 49-51
- (102) 森井紀子・江口則和・船田 良・高木健太郎・日浦 勉・笹賀一郎・小池孝良(2006) FACE 開放系大気 CO₂ 増加) に生育する落葉広葉樹の水分生理特性. 日本森林学会北海道支部論文集, 54: 64-66.
- (103) 飛驒 剛・唐津一樹・江口則和・高木健太郎・日浦 勉・笹賀一郎・小池孝良(2006) 高 CO₂ 環境下で生育したブナとウダイカンバの呼吸特性—開放系大気 CO₂ 増加(FACE) を用いた場合—. 日本森林学会北海道支部論文集, 54:58-60.
- (104) 唐津一樹・飛驒 剛・江口則和・上田龍四郎・高木健太郎・日浦 勉・笹賀一郎・小池孝良(2006) FACE 開放系大気 CO₂ 増加) に生育する落葉広葉樹の光合成特性. 日本森林学会北海道支部論文集, 54:61-63.
- (105) 大塚優佳・渡邊陽子・福井富三・間宮春大・藤戸永司・日浦 勉・小池孝良 (2006) ブナ個葉の被食防衛物質. 日本森林学会北海道支部論文集, 54: 52-54.
- (106) 小林真・池 東焄・笹賀一郎・佐藤冬樹・吉田俊也・小池孝良(2006)異なる栄養・光環境下で生育したチョウセンゴヨウマツ稚樹の光合成特性の評価. 日本森林学会北海道支部論文集, 54:73-75.
- (107) 池 東焄・小林 真・森井紀子・李明鐘・申 東愨・香山雅純・北岡 哲・崔 東壽・小池孝良 (2006)台風 14 号による攪乱がチョウセンゴヨウマツ前生稚樹の光合成特性に及ぼす影響—韓国・江原大学校演習林の事例—. 日本森林学会北海道支部論文集, 54:76-78..
- (108) 遠藤郁子・香山雅純・飛田博順・北尾光俊・宇都木玄・田中永晴・北岡 哲・小池孝良(2006) タイトル:シラカンバ・ウダイカンバ・ケヤマハンノキの乾燥に対する応答. 日本森林学会北海道支部論文集, 54:46-48.
- (109) 江口則和・森井紀子・上田龍四郎・船田 良・高木健太郎・日浦 勉・笹賀一郎・小池孝良 (2007) 大気中 CO₂ 濃度の増加に伴う冷温帯樹木シュートの通水特性と通道組織の変化. 日本森林学会北海道支部論文集, 55: 50-52.
- (110) 森井紀子・江口則和・池田武文・渡邊陽子・高木健太郎・日浦 勉・笹賀一郎・小池孝良(2007) FACE 開放系大気 CO₂ 増加) に生育する落葉広葉樹の水分生理特性. 日本森林学会北海道支部論文集, 55: 53-55.
- (111) 飛驒 剛・江口則和・飛田博順・宇都木玄・上村 章・北岡 哲・小池孝良 (2007) 高 CO₂ 環境下で生育した冷温帯落葉広葉樹の光補償点の変化—被陰環境で生育した稚樹を用いて—. 日本森林学会北海道支部論文集, 55:41-43.

- (112) 崔 東壽・渡邊陽子・上里季悠・北岡哲・秋林幸男・笹賀一郎・小池孝良(2007)異なる光環境下に生育するニセアカシア稚樹の光合成特性—北海道大学札幌研究林の事例—日本森林学会北海道支部論文集, 55:44-46.
- (113) 大塚優佳・渡邊陽子・福井富三・間宮春大・藤戸永司・日浦 勉・小池孝良(2007)ブナとミズナラ稚樹の葉の被食防衛物質の局在. 日本森林学会北海道支部論文集, 55:62-64.
- (114) 小林 真・Bruanin, S.V., Naumenka, A.V., Nemilostiv, Y.P.・吉田俊也・佐藤冬樹・笹賀一郎・小池孝良(2007)山火事後に形成される様々な林床環境がグイマツ・ヨーロッパアカマツ・エゾマツ種子の発芽に与える影響—極東ロシア・アムール州の事例—日本森林学会北海道支部論文集, 55:23-25.
- (115) 上里季悠・松木佐和子・飛田博順・笹賀一郎・小池孝良 (2007) 異なる CO₂ 濃度と土壤栄養条件がハンノキ属樹木の被食防衛に与える影響. 日本森林学会北海道支部論文集, 55:56-58.
- (116) 松井克彦・江口則和・佐藤冬樹・市川 一・菅田定雄・笹賀一郎・小池孝良 (2007) 高 CO₂ 環境で生産された落葉を摂食するワラジムシの飼育試験. 日本森林学会北海道支部論文集, 55:59-61.
- (117) 北岡 哲・阪田匡司・飛田博順・上村 章・北尾光俊・宇都木玄・丸山 温・笹賀一郎・小池孝良 (2007) 北海道の主要落葉樹からのメタン発生に関する予備試験. 日本森林学会北海道支部論文集, 55:70-72.
- (118) 松並志郎・小林 真・里村多香美・渡邊陽子・菅田定雄・市川 一・北條 元・山ノ内 誠・門松昌彦・秋林幸男・笹賀一郎・小池孝良 (2008) ニセアカシアの侵入初期過程における根系動態—天塩・中川・札幌研究林での予備調査—. 日本森林学会北海道支部論文集, 56: 13-16.
- (119) 兼俊壮明・江口則和・北岡 哲・崔 東壽・斎藤秀之・小池孝良 (2008) 異なる光環境下におけるニセアカシアの光合成特性と季節変化. 日本森林学会北海道支部論文集, 56: 145-148.
- (120) 小林 真・金 容爽・松井克彦・野村 睦・柴田英昭・里村多香美・上浦達也・北條元・高橋廣行・小塚 力・坂井 励・高木健太郎・佐藤冬樹・笹賀一郎・小池孝良 (2008) 火入れ処理が北海道のササ地における土壌のリンと窒素の動態へ与える影響. 日本森林学会北海道支部論文集, 56: 29-32.
- (121) 唐木貴行・近藤哲也・渡邊陽子・門松昌彦・秋林幸男・笹賀一郎・斎藤秀之・渋谷正人・小池孝良 (2008) 外来種ニセアカシア種子の発芽特性と種皮の不透水性. 日本森林学会北海道支部論文集, 56: 21-24.
- (122) 松井克彦・上里季悠・江口則和・柴田英昭・市川 一・菅田定雄・佐藤冬樹・笹賀一郎・小池孝良 (2008) 開放系大気 CO₂ 増加(FACE)環境下で生産された落葉を摂食するワラジムシの飼育試験. 日本森林学会北海道支部論文集, 56: 33-36.

- (123) 池 東焄・北岡 哲・崔 東壽・日浦 勉・李 明鐘・小池孝良 (2008) 北大苫小牧研究林に更新したチョウセンゴヨウ稚樹の光合成特性. 日本森林学会北海道支部論文集, 56:37-40.
- (124) 江口則和・里村多香美・渡邊陽子・北岡 哲・上田龍四郎・船田 良・高木健太郎・日浦勉・笹賀一郎・小池孝良(2008)高 CO₂ 環境下で生育する冷温帯落葉広葉樹の水分通量と木部構造の変化. 日本森林学会北海道支部論文集, 56: 25-27.
- (125) 北岡 哲・宇都木玄・北尾光俊・飛田博順・上村 章・加藤光多・竹内裕一・上田龍四郎・江口則和・小池孝良(2008) 開放系大気 CO₂ 付加実験施設(FACE)で育成した冷温帯主要落葉広葉樹の光および窒素利用特性. 日本森林学会北海道支部論文集, 56: 153-156.
- (126) 渡辺 誠・北岡 哲・飛田博順・上村 章・宇都木玄・小池孝良 (2009) 高 CO₂ 処理と窒素付加がオノエヤナギの葉のメタン放出に与える影響. 日本森林学会北海道支部論文集, 57: 41-43.
- (127) 兼俊壮明・北岡 哲・渡辺 誠・江口則和・小林 真・渡邊陽子・斎藤秀之・小池孝良 (2009) 異なる光環境下におけるニセアカシアの光合成と窒素利用特性の季節変化. 日本森林学会北海道支部論文集, 57: 29-31.
- (128) 小池孝良・北尾光俊・北岡 哲・渡辺 誠・丸山 温 (2009) 土壤乾燥がブナ稚樹の個葉の形態と生理機能に及ぼす影響. 日本森林学会北海道支部論文集, 57, 37-39.
- (129) 日向潔美・渡邊陽子・北岡 哲・渡辺 誠・飛田博順・上村 章・宇都木玄・北尾光俊・小池孝良 (2009) 高 CO₂ と窒素付加環境で生育した落葉広葉樹個葉の被食防衛物質の局在. 日本森林学会北海道支部論文集, 57: 45-47.
- (130) 笠 小春・渡辺 誠・高木健太郎・柴田英昭・野村 睦・小池孝良 (2009) 窒素付加が蛇紋岩土壤に植栽したグイマツ雑種 F₁ の光合成能力と成長に与える影響. 日本森林学会北海道支部論文集, 57: 49-51.
- (131) 北岡 哲・渡辺 誠・渡辺陽子・飛田博順・上村 章・宇都木玄・江口則和・笹賀一郎・小池孝良 (2009) 開放系大気 CO₂ 増加 (FACE)施設で育成した冷温帯主要落葉樹萌芽の光および窒素利用特性. 日本森林学会北海道支部論文集, 57: 191-193.
- (132) 松並志郎・小林真・里村多香美・市川 一・秋林幸男・笹賀一郎・小池孝良(2009) ニセアカシア稚樹の成長と根圏抑制の影響—実験苗畑を利用した予報—. 日本森林学会北海道支部論文集, 57: 32-34.
- (133) 笠 小春・渡辺 誠・伊森允一・高木健太郎・野村 睦・小池孝良(2010) 蛇紋岩土壤に植栽したグイマツ雑種 F₁ の光合成と成長に与える窒素付加の影響—処理 3 年目の応答—. 日本森林学会北海道支部論文集, 58:17-20.
- (134) 渡辺 誠・龍田慎平・斎藤秀之・小池孝良・稲田秀俊・久保島康行・江口将之・渡邊陽子(2010) 摩周湖外輪山のダケカンバ衰退に関する生理生態学的調査. 日本森林学会北海道支部論文集, 58:13-15.

- (135) 龍田慎平・渡辺 誠・伊森允一・斎藤秀之・小池孝良・久保島康行・江口将之・渡邊陽子(2010) 摩周湖外輪山におけるオゾンがカンバ類 2 種稚樹の成長に与える影響— オープントップチェンバー法による評価—. 日本森林学会北海道支部論文集, 58:21-22.
- (136) 小池孝良・龍田慎平・渡辺 誠・斎藤秀之 (2010)北海道産ダケカンバとシラカンバの成長特性. 日本森林学会北海道支部論文集, 58:23-24.
- (137) 小林 真・廣部 宗・小池孝良・DeLuca, TH・Bruanin SV・Malashko EV・Valentina FV・橋床泰之 (2010) ロシア・アムール州の山火事後の森林再生初期過程 —特に針葉樹実生の更新と土壤養分と炭量に注目して—. 日本森林学会北海道支部論文集, 58:63-66.
- (138) 末次直樹・斎藤秀之・澁谷正人・小池孝良(2010) アカエゾマツとカラマツ林における中型土壤動物群集—北海道大学実験苗畑の事例—. 日本森林学会北海道支部論文集, 58:35-36.
- (139) 唐木貴行・近藤哲也・渡邊陽子・小池孝良(2010) ニセアカシア種子の吸水部位からみた発芽条件の検討. 日本森林学会北海道支部論文集, 58:37-39.
- (140) 青山千穂・小池孝良(2010) ブナとミズナラ幼樹の誘導防御の経時変化. 日本森林学会北海道支部論文集, 58:143-146.
- (141) 伊森允一・渡辺誠・金容ソク・来田和人・小池孝良(2010) グイマツ雑種 F1 の成長と光合成特性に対する窒素付加の影響. 日本森林学会北海道支部論文集, 58:39-42.
- (142) 日向潔美・渡邊陽子・渡辺 誠・北岡 哲・飛田博順・上村 章・宇都木玄・小池孝良(2010) 高 CO₂ と窒素付加環境で生育した落葉広葉樹個葉の被食防衛物質の局在—処理 2 年間の影響—. 日本森林学会北海道支部論文集, 58:43-46.
- (143) 伊藤寛剛・渡辺 誠・毛 巧芝・Eka Novriyanti・上田龍四郎・高木健太郎・笹賀一郎・斎藤秀之・澁谷正人・小池孝良 (2011) 開放系大気 CO₂ 増加 (FACE) 施設で育成したカンバ類 3 種のシュートの動態. 日本森林学会北海道支部論文集, 59: 35-38.
- (144) 渡辺 誠・毛 巧芝・Eka Novriyanti・伊藤寛剛・上田龍四郎・高木健太郎・笹賀一郎・小池孝良 (2011) 開放系大気 CO₂ 増加(FACE)施設で育成したカンバ類 3 種の光合成活性. 日本森林学会北海道支部論文集, 59: 39-40.
- (145) 稲田直輝・渡辺 誠・斎藤秀之・澁谷正人・小池孝良(2011) 高 CO₂ および高 O₃ 下におけるカンバ類 3 種稚樹の成長. 日本森林学会北海道支部論文集, 59: 41-44.
- (146) 伊森允一・毛 巧芝・渡辺 誠・金 容爽・来田和人・小池孝良 (2011) 窒素付加がグイマツ雑種 F₁ の針葉の養分動態に及ぼす影響. 日本森林学会北海道支部論文集, 59: 45-48.
- (147) 渡邊陽子・山口高志・野口 泉・龍田慎平・渡辺 誠・小池孝良・北岡 哲・上村 章・久保島康行・渡邊 忠(2011) 北海道における森林樹木の個葉に付着したエアロゾル粒子の観察. 日本森林学会北海道支部論文集、 59: 57-58.
- (148) 稲田直輝・星加康智・渡辺 誠・小池孝良 (2012) 開放系オゾン暴露実験によるブナとシラカンバの光合成機能へのオゾンの影響. 北方森林研究, 60: 31-32.

- (149) 星加康智・稲田直輝・渡辺 誠・小池孝良 (2012) 開放系オゾン暴露実験によるブナを対象とした気孔応答へのオゾンの影響. 北方森林研究, 60: 33-34.
- (150) Mao, Q.・Hoshika, Y.・Watanabe, M. and Koike, T. (2012) Symptom of ozone injured leaves in deciduous broadleaved trees native to Hokkaido. Boreal Forest Research, 60: 35-38.
- (151) 原 悠子・伊藤寛剛・渡辺 誠・毛 巧芝・星加康智・斎藤秀之・渋谷正人・小池孝良 (2012) 開放系大気 CO₂ 増加(FACE)施設で育成したカンバ類3種のシュートの動態—CO₂ 付加2年目の効果—. 北方森林研究, 60: 39-40.
- (152) 渡辺 誠・上田龍四郎・高木健太郎・笹 賀一郎・小池孝良 (2012) 開放系大気 CO₂ 増加 (FACE) による2成長期間の高 CO₂ 処理がカンバ類3種の光合成活性に与える影響. 北方森林研究, 60: 41-42.
- (153) 佐久間彬・山口高志・野口 泉・渡部 忠・若松 歩・渡辺 誠・斎藤秀之・渋谷正人・小池孝良 (2012) 摩周湖外輪山におけるダケカンバ衰退現象と立地環境—予備調査—. 北方森林研究, 60: 43-44
- (154) 及川聞多・松木佐和子・渡辺 誠・小池孝良 (2013) 開放系大気 CO₂ 増加施設で育成したカンバ類の葉の虫害. 北方森林研究 61: 23-24.
- (155) 伊藤寛剛・中路達郎・王 曉娜・渡辺 誠・原 悠子・小池孝良 (2013) 開放系大気 CO₂ 増加 (FACE) 施設で育成したシラカンバの細根動態. 北方森林研究, 61: 35-36.
- (156) 渡辺誠・星加康智・小池孝良(2013) 異なる時期のオゾン付加に対するウダイカンバ苗の成長・光合成応答, 北方森林研究, 61: 37-40.
- (157) 星加康智・渡辺 誠・稲田直輝・毛 巧芝・王 曉娜・小池孝良 (2013) 開放系オゾン暴露実験を用いたブナ葉のオゾン吸収量推定. 北方森林研究, 61: 43-44.
- (158) Wang X・Mao Q・Qu L・Tamai Y・Watanabe M・Koyama A・Koike, T. (2013) Biodiversity of ectomycorrhiza of three larch species grown under different phosphorous and nitrogen levels in weathered volcanic ash soil. Boreal Forest Research, 61: 45-48.
- (159) 稲田直輝・毛 巧芝・王 曉娜・星加康智・渡辺 誠・小池孝良 (2013) ブナの陽樹冠と陰樹冠へのオゾン影響～開放系オゾン暴露実験による解析～. 北方森林研究, 61: 49-50.
- (160) 佐久間彬・渡辺 誠・若松 歩・川井田東吾・小池孝良 (2013) 摩周湖外輪山における森林衰退と土壌要因. 北方森林研究, 61: 105-106.
- (161) Wang X・Qu L・Watanabe M・Koyama A・Kawaguchi K・Tamai Y・Koike, T. (2014) Observation and species richness of Ectomycorrhiza in hybrid larch F₁ under elevated CO₂ and O₃. Boreal Forest Research, 62: 53-56
- (162) 原 悠子・渡辺 誠・高木健太郎・佐藤冬樹・毛 巧芝・小池孝良 (2014) 開放系大気 CO₂ 増加(FACE) 施設で育成したカバノキ属 3種の葉面積指数の動態—CO₂ 付加4年間の経年変化—. 北方森林研究, 62: 57-58
- (163) 崎川哲一・及川聞多・渡辺 誠・毛 巧芝・小池孝良 (2014) 開放系オゾン付加実験

- を用いたシラカンバ幼木の葉の動態. 北方森林研究, 62: 59-60
- (164) 佐久間 彬・渡辺 誠・若松 歩・小林史和・川井田東吾・斎藤秀之・小池孝良 (2014) 摩周湖外輪山ダケカンバ衰退木の葉の水分特性と土壌特性. 北方森林研究, 62: 61-64
- (165) 荒木基二・渡辺 誠・斎藤秀之・渋谷正人・玉井 裕・小池孝良 (2014) 窒素沈着がダケカンバとシラカンバの成長と外生菌根の発達に与える影響. 北方森林研究, 62: 65-66
- (166) 及川聞多・松木佐和子・渡辺 誠・小池孝良 (2014) 開放系大気 CO₂ 増加施設に植栽されたカンバ類の葉の虫害と被食防衛能. 北方森林研究, 62: 81-82
- (167) 蟹江紗耶子・竹内裕一・崎川哲一・佐藤冬樹・小池孝良 (2015) 開放系オゾン付加施設で育成したシラカンバの光合成特性. 北方森林研究, 63: 37-38.
- (168) 崎川哲一・中村誠宏・渡辺誠・佐藤冬樹・小池孝良 (2015) 開放系オゾン付加施設で生育したシラカンバ若齢木の葉の食害. 北方森林研究, 63: 39-40.
- (169) Agathoklbous, E., Paoletti, E. Manning, J. W. Satoh, F. Koike, T. (2015) Ethylenediurea (EDU) as a soil drench to reduce O₃ impact on willow (*Salix sachalinensis*) cuttings - A preliminary observation using a free-air O₃ fumigation system - . Boreal Forest Research 63: 41-42.
- (170) Kam Dong-Gyu・Agathoklbous, E., Watanabe, M. Takagi, K. Satoh, F. Kita, K. Koike, T. (2015) Production efficiency of needles of two larches species raised under a free air Ozone fumigation system in combination with nitrogen application. Boreal Forest Research 63: 43-44.
- (171) Vanderstock, A. Agathokleous, E. Inoue, W. Eguchi, N. Nakamura, M. Satoh, F. Kanie, S. and Koike, T. (2016). Preliminary survey on insect grazing in white birch stands under free-air O₃ fumigation. Boreal Forest Research, 64: 27-29.
- (172) 菅井徹人・渡部敏裕・来田和人・斎藤秀之・渋谷正人・小池孝良 (2016) ニホンカラマツとグイマツ雑種 F₁ の光合成と成長に及ぼすオゾン暴露と硫酸アンモニウム付加の影響, 北方森林研究, 64:63-66
- (173) 蟹江紗耶子・佐藤冬樹・小池孝良 (2016) 開放系オゾン付加施設で育成した稚樹の光合成特性. 北方森林研究, 64: 71-72.
- (174) 藤田早紀・来田和人・斎藤秀之・渋谷正人・小池孝良 (2016) 窒素沈着がグイマツ雑種の細根動態に与える影響-リン付加の効果に注目して-, 北方森林研究, 64:67-70
- (175) 崎川哲一・中村誠宏・佐藤冬樹・小池孝良 (2016) 開放系オゾン暴露施設で生育したシラカンバ葉に対するハンノキハムシの食害応答、北方森林研究, 64:35-36
- (176) 井上 航・Vanderstock, A. 崎川哲一・中村誠宏・斎藤秀之・渋谷正人・小池孝良 (2016) 異なる O₃ 濃度及び土壌条件下で生育した落葉広葉樹の虫害、北方森林研究、64:41-44
- (177) 増井昇・望月智貴・谷晃・斎藤秀之・渋谷正人・小池孝良 (2017) 高オゾン濃度環境下におけるシラカンバの BVOC 放出, 北方森林研究 65:印刷中

Ⅲ. その他の出版物

- (1) 林田好広・小池孝良(1980) 「第 17 回林木生理シンポジウム記録」, 日本林学会誌 62: 444-448.
- (2) 小池孝良・柴草良悦 (1985) 「第 19 回林木生理シンポジウム記録」、日本林学会誌 67: 378-380.
- (3) 松田 疆・小池孝良・平川幸子(1999) 演習林研究会「森林科学研究の最前線」講演会要旨, 北方森林保全技術, 17: 92-108.
- (4) 笹賀一郎・小池孝良 (2002) 札幌研究林と「ユーラシアの森」見本林計画. 北方林業、54:42-45
- (5) 高木健太郎・小池孝良 (2002) 第 9 回日米セミナー: 地球変動ワークショップ「陸域生態系における炭素循環マネジメント」報告. 北方林業 54: 18-21.
- (6) 小池孝良 (2002) 北海道大学大学院農学研究科と農学部の留学生と国際交流の実状 - 農学系 (農・獣医・水産)データを基礎にして -, 農学国際協力 1: 27-33.
- (7) 丸山 温・小池孝良 (2004) 「新・森林考」これからの森づくりをはじめるとあたって. 北方林業 56:16
- (8) 渡辺 誠・渡邊陽子・小池孝良 (2010) 第 4 回国際シンポジウム「植物の成長・競争・ストレス防御のメカニズム」 北方林業 62:316-319
- (9) 伊森允一・佐藤香織・毛 巧芝・Novriyanti, Eka・渡辺 誠・小池孝良 (2011) 第 23 回国際森林研究機関連合 -IUFRO 世界大会の参加記録- 北方林業 63: 69-72.
- (10)佐藤香織・小林 真・金 容爽・小池孝良 (2011) 森林の山火事に関するシンポジウム -第 23 回 IUFRO 世界大会報告-、北方林業 63: 101-104.
- (11)渡辺 誠・Novriyanti, Eka・毛 巧芝・小池孝良 (2011) 国際会議「変動環境におけるキャノピープロセス」に参加して (ビクトリア州編) 北方林業 63: 153-156
- (12)渡辺 誠・Novriyanti, Eka・毛 巧芝・小池孝良 (2011) 国際会議「変動環境におけるキャノピープロセス」に参加して (タスマニア州編) 北方林業 63: 189-192.
- (13)渡辺 誠・星加康智・小池孝良 (2012) 国際会議「気候変動と大気汚染に対する森林の生物学的応答」に参加して、北方林業 64: 366-369.
- (14)渡辺 誠・小池孝良 (2013) 欧州科学技術協力機構 COST 会議: 大気環境と森林管理会議, 北方林業、65: 144-147.
- (15)小池孝良(2013) 摩周湖外輪山のダケカンバ林衰退の謎に迫る」—対流圏オゾンの現状と森林景観維持への課題—、摩周湖外輪山の保全に関する包括連携研究会、弟子屈町・北海道大学、pp. 43.
- (16)Koike, T., Shi, C. and Shi, F-C. (2014) The 1st Joint seminar of Nankai University and Hokkaido University, pp. 25.
- (17)小池孝良・毛 巧芝・渡辺 誠・星加康智 (2014) 森林研究機関連合 (IUFRO-07 関連)

集会—大気変動環境と森林動態に関する国際会議—北方林業、66: 8-11.

- (18) 小池孝良・佐藤冬樹 (2014) 森林空間機能学演習から—森林科学 1 年目の若者の言—、北方林業 66: 161.
- (19) 小池孝良 (2014) 森林と環境—「森林立地論への道」—、北方林業 66:336.
- (20) Koike, T., Shi, C., Fujita, S. and Shi, F.C. (2015) The 2nd Joint seminar of Nankai University and Hokkaido University, pp. 25.
- (21) Yokota, A, Satoh F, Koike T (2016) A contribution to the 100th anniversary of The Huisun Forest, Taiwan: - Experiment Forests of National Chung Hsing University and Hokkaido University Forests-, Technical Report of Boreal Forest Conservation, 55-60.
- (22) 藤田早紀・Agathokleous Eugenios・小池孝良(2017) IUFRO アジア・オセアニア地域大会参加報告, IUFRO-J ニュース, 119: 4-7.